

# AVX-P90DV 取付説明書

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

## 販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2008

<KMIZF> <08D00000> <CRA4167-A>

準備  
1

## 接続・取り付け部品を確認する

### 本体関係



本体 × 1



バインドネジ  
(5 mm × 6 mm) × 4



バインドネジ  
(4 mm × 3 mm) × 4



皿ネジ  
(5 mm × 6 mm) × 4



目隠しシール × 1



クリーニングクロス × 1



タッチパネル用調整ペン × 1

※ タッチパネル用調整ペンは、キャリブレーション設定で使用します。使用方法は、取扱説明書の「タッチパネルの誤差を補正する」をご覧ください。使用しないときは、大切に保管してください。

### リモコン関係



リモコン × 1



リチウム電池  
(CR2025) × 1



面ファスナー (小)  
(かたい方) × 1



面ファスナー (小)  
(やわらかい方) × 1

### コード関係



電源コード  
(本体用) × 1



紫/白リード線延長  
コード (8 m) × 1



RCA入力コード × 1

接続  
1

## 接続の前に知ってほしいこと

### 接続上のご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。

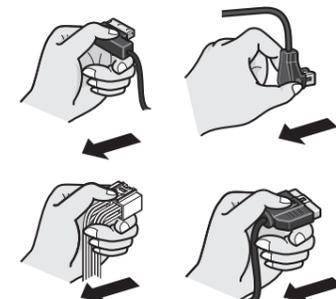
### 接続のポイント

#### ノイズ防止のために

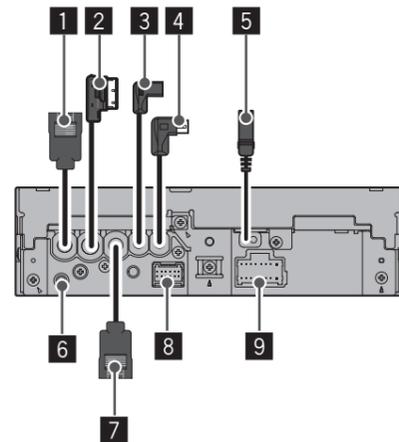
- ノイズ防止のため、アンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。
  - \* 本体
  - \* FM/AMアンテナ
  - \* IP-BUSケーブル
  - \* 光デジタルケーブル
  - \* RCAコード
  - \* 電源コード
  - \* 車のコードおよび機器類
  - \* ナビゲーション本体
  - \* GPSアンテナ
  - \* 30ピンRGBケーブル
  - \* 26ピンコンポーネントケーブル
  - \* バックカメラケーブルそれぞれのコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。
- RCAコードに何も接続しない場合は、付属のキャップを外さないでください。

### コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



## 接続端子の名前と働き



### 1 26ピンコンポーネント出力端子 (青) (40 cm)

26ピンコンポーネント入力付きのパイオニア製モニターと接続します。

### 2 30ピンRGBケーブル (若草色) (40 cm)

30ピンRGB出力付きのパイオニア製ナビゲーション「AVIC-H9000」などと接続します。

### 3 IP-BUS入力端子 (青) (13.5 cm)

IP-BUS出力のある製品を接続します。

### 4 IP-BUS出力端子 (青) (38.5 cm)

IP-BUS入力のある、パイオニア製メインユニットと接続します。

### 5 ガイドスピーカー出力端子 (9 cm)

ナビゲーションのガイド音声出力するために、パイオニア製ガイド音声用スピーカー「CD-TS36G」を接続します。

### 6 光デジタル出力端子

光デジタル入力付きのパイオニア製品と接続します。接続には、光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」が必要です。

### 7 26ピンコンポーネント入力端子 (白) (40 cm)

パイオニア製の地上デジタルTVチューナーと接続します。

コンポーネント入力端子は、当社の地上デジタルTVチューナーとの接続専用です。ほかの機器とは接続しないでください。

### 8 RCA入力コード接続端子

付属のRCA入力コードを接続します。

### 9 電源

付属の電源コードを接続します。

## 電源コードの接続

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

RCAリア映像出力 (黄)/RCAリア音声出力 (白・赤) リアモニター (後部座席専用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子に接続してください。それ以外は、何も接続しないでください。

注: この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

アース  
車のボディの金属部に確実に接続してください。

+バッテリー電源  
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

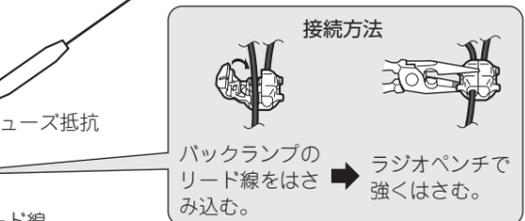
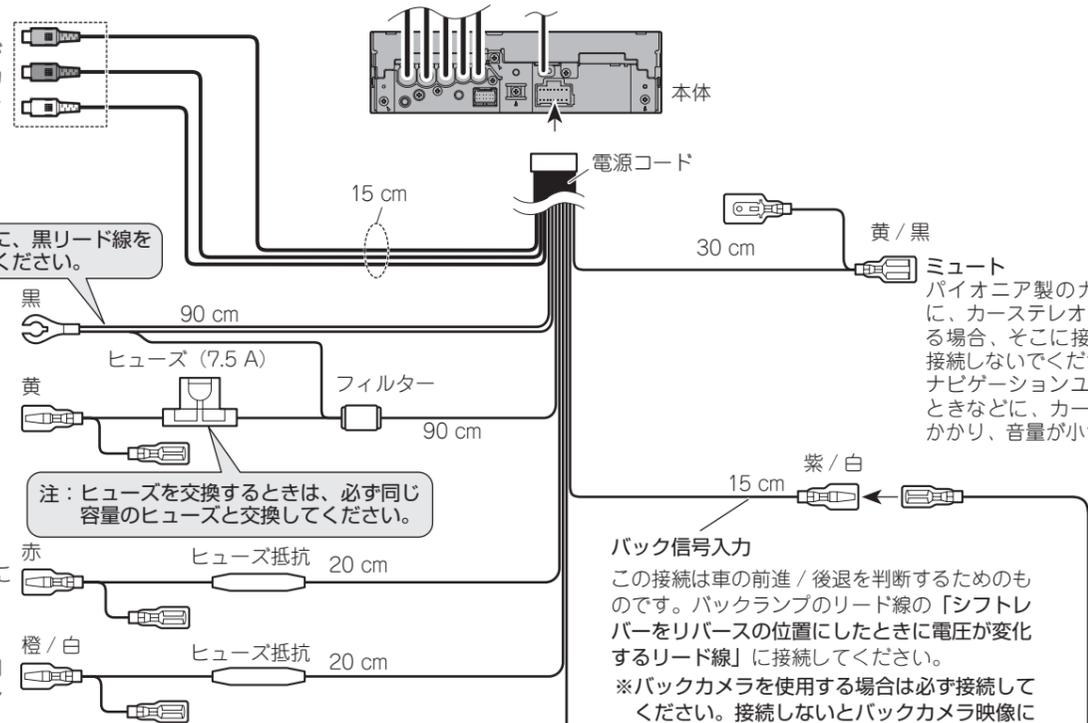
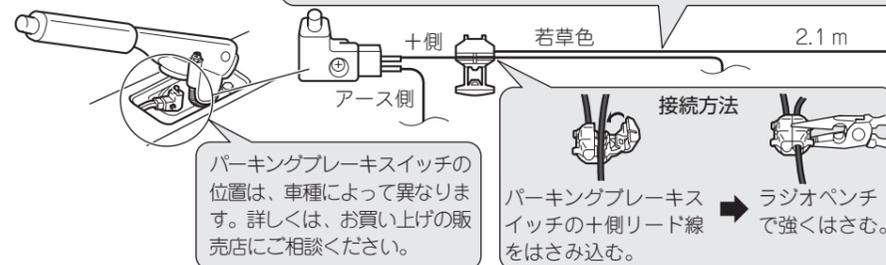
アクセサリ電源  
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源  
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。

注: 赤、黄、橙/白リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

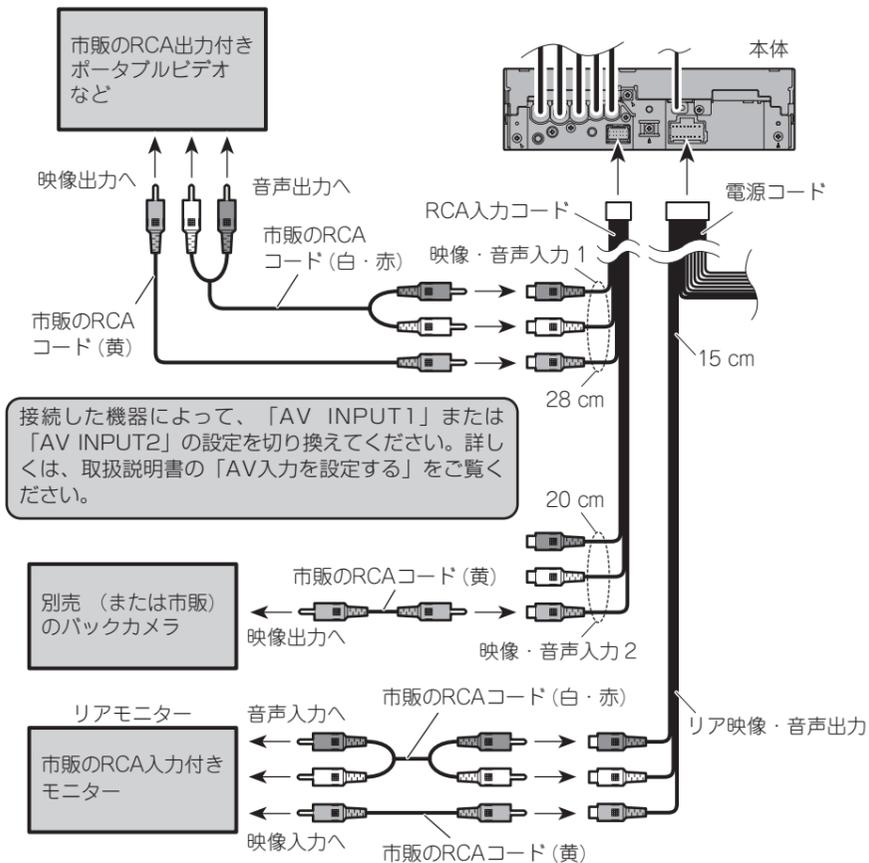
注: 電源コードの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

注: このリード線の接続を間違ったり、忘れたりすると、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。



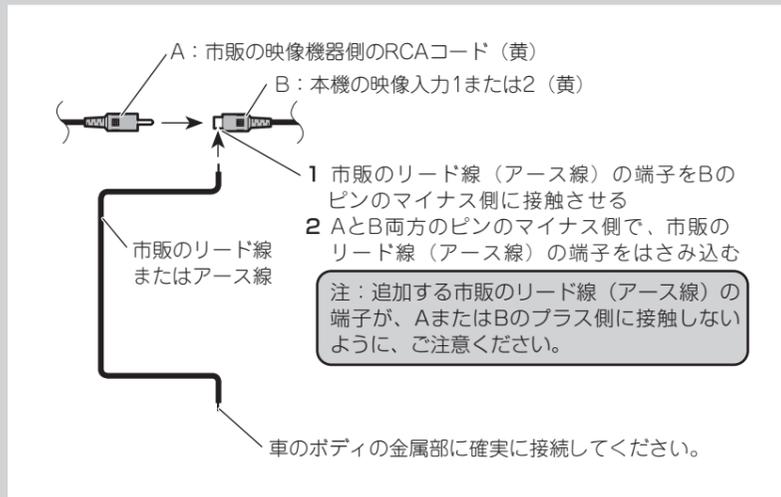


詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください



## 映像入力1および2(黄)について

100V(家庭用)電源を使うゲーム機などを接続すると、画像が乱れる場合があります。その場合は、以下の処置を試し、画像の乱れの少ない接続方法を選んでください。



リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力はパーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。

市販のバックカメラを使用する場合は、鏡像タイプをお勧めします。

## 警告



禁止

リアモニター出力に接続したモニターを使用する場合  
本機のリアモニター出力は、後部座席でDVDやビデオを見るモニターを接続するためのものです。リアモニター出力に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

## ダッシュボード付近に本製品を取り付ける場合のご注意

下記の点にご注意ください。

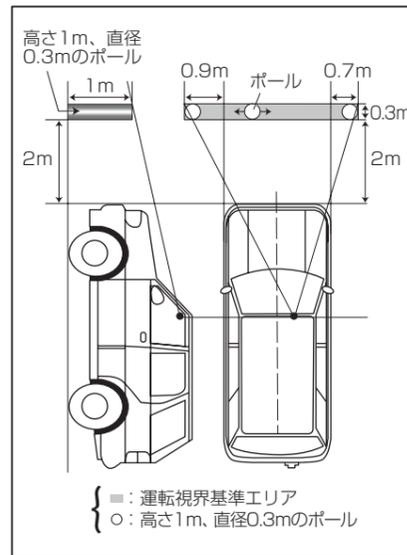
- ・前方視界を妨げない
- ・直前側方視界を妨げない
- ・エアバッグシステムの動作を妨げない
- ・ナビゲーションモニターに関しては運転中の視線移動が少ないように

前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準\*に適合せず車検に通らなかったり整備不良の対象となる場合があります。

\*保安基準とは、昭和26年7月28日施行 運輸省(現、国土交通省)令第67号道路運送車両の保安基準における第21条及び第44条第5項の告示で定める基準をいいます。

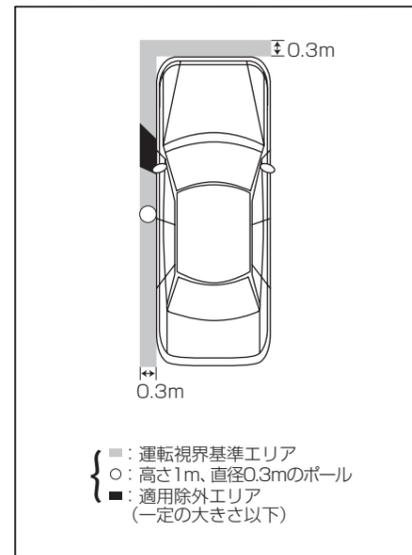
### 前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のボールが直接確認できるように取り付けください。



### 直前側方視界に関して

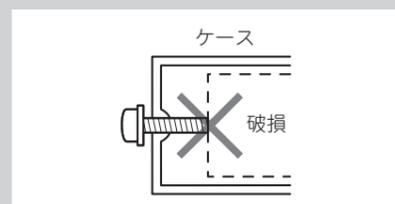
運転者が通常の運転状態における視点において、下図のボールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けください。



注) いずれの基準も左ハンドル車の場合は左右逆となります。

## 取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



## 取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### 取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

### 粘着テープを張り付ける前に

- 粘着テープを張り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、粘着テープの接着面は指で触れたり、張り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

### ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、アンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。

- \* 本体
- \* FM/AMアンテナ
- \* IP-BUSケーブル
- \* 光デジタルケーブル
- \* RCAコード
- \* 電源コード
- \* 車のコードおよび機器類
- \* ナビゲーション本体
- \* GPSアンテナ
- \* 30ピンRGBケーブル
- \* 26ピンコンポーネントケーブル
- \* バックカメラケーブル

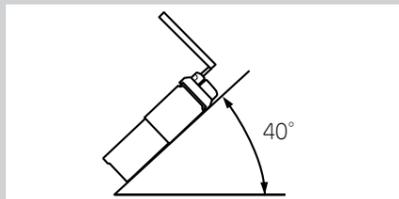
それぞれのコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

# 取付 1 取り付けの前に知ってほしいこと

つづき

## 取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。



- 必ず本機に付属のネジを使用して取り付けください。付属のネジよりも長いものを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

- 車種によっては、モニターが立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

- 本機とカーナビゲーションシステムやメインユニットを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けください。本機を下に取り付けると、モニターが立ち上がったときに、カーナビゲーションやメインユニット本体を隠してしまい、カーナビゲーションやメインユニットの操作の妨げになります。

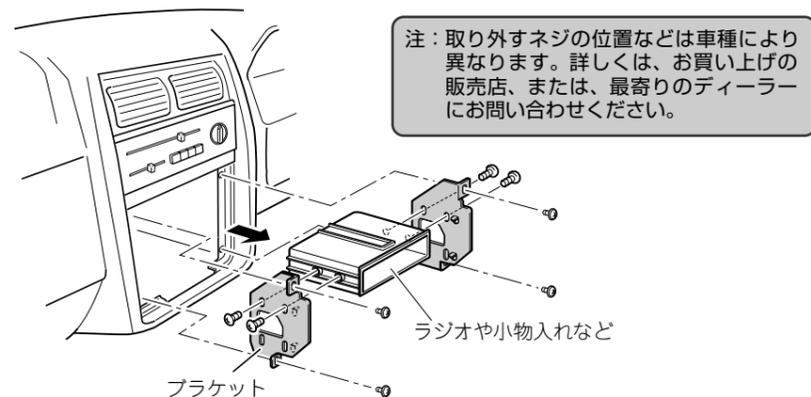
- 車種によっては、モニターがコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニターの角度を上向きに調節できない場合があります。

- エアバッグなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないように取り付けください。

# 取付 2 本体の取り付け

## 1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

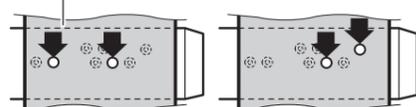


## 2 ネジ止める位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

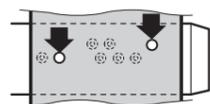
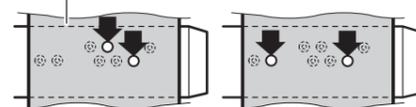
### トヨタ車の場合

#### トヨタ車ブラケット



### 日産車の場合

#### 日産車ブラケット



## ■ 取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

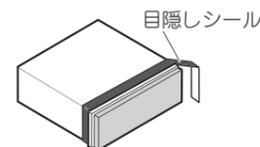
本機の奥行きは、一般のカーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付けることも可能です。

例：日産車の場合

	タイプ 1	タイプ 2
通常のネジ穴を使用する場合	日産車ブラケット	
後側のネジ穴を使用する場合		

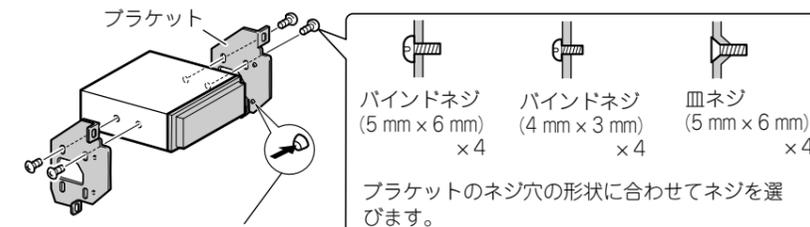
取り付けスペースの奥行きが少ないなどの理由で「後側のネジ穴を使用する場合」には、加工するなどして、必ず片側2カ所ずつネジ止めしてください。片側1カ所止めの場合、音飛びや故障の原因となります。また、車種によっては窓パネルの加工なども必要となりますので、商品の取り付けにあたっては、お買い上げの販売店にご相談ください。

ネジ穴を後方にずらして取り付けの場合は、付属の目隠しシールを本機前面に張り付けます。



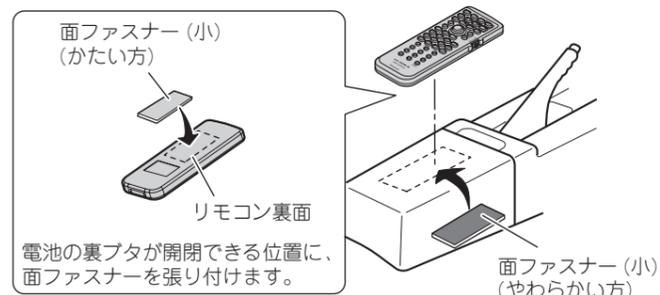
## 3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、もともと車に取り付けます。



車両側のブラケットの凸部やツメがじゃまになり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。  
\*作業の際には安全に十分ご注意ください。

リモコンは、付属の面ファスナー（小）を使用して取り付けます。



接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

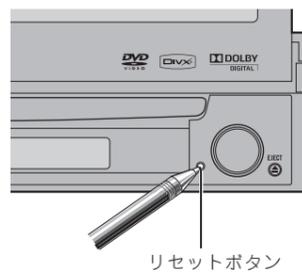
### 1 接続・取り付けを もう一度確認する

#### 確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見えて確認してください。

### 2 ペン先などで リセットボタンを押す

本機のマイコンが初期状態に戻ります。



#### ナビゲーションユニットと組み合わせた場合

パイオニア製ナビゲーションユニットと組み合わせた場合、必ずエンジンスイッチをOFFにしてからリセットボタンを押してください。エンジンスイッチがONやACCの状態でもリセットボタンを押しても、正しく動作しないことがあります。

### 3 車のエンジンをかける



### 4 本機の動作を確認する （取扱説明書）